

令和5年度学校評価報告書

令和5年3月29日

北海道教育委員会教育長 様

北海道登別青嶺高等学校長 坪井克彦 印

次のとおり令和5年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標（スクール・ミッション）

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 生徒の興味・関心、進路希望等に応じて柔軟に教育課程を編成し、個々の進路実現に向けて必要な能力や態度を身に付けた生徒の育成 (2) 地域唯一の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創っていく生徒の育成 (3) 自他を尊重し思いやりの心を持ち、義務と責任を重んじ的確に判断し、主体的に行動できる生徒の育成 |
|--|

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度において「じもと学Ⅰ・Ⅱ」が完成した。 ・教務だよりを発行し、家庭学習の定着を啓発した。また週末課題の実施など、学習習慣の定着を図る取組は実践しているが、自己評価は低い結果となった。 ・朝読書や朝学習の取組は継続して実施していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登別市、議会、商工会議所、地元企業等との連携が各方面に周知され評価に繋がっていると思うので、次年度以降も連携を密にして進めていただきたい。 ・単位制の特色を活かし、生徒の興味・関心や進路希望に応じたカリキュラムの編成が必要かと思えます。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本を大切にしている指導については先生方に浸透しているので次年度も継続する。また、生徒の選択の様子や進路結果を踏まえ、教育課程の編成について検討する。 ・落ち着いた学校生活を送るためにも、朝読書・朝学習は継続していく。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホの自己管理は、大きなトラブルはないものの、継続的な指導が必要である。 ・学校行事やボランティア活動に積極的な生徒が増えてきている。次年度も継続していきたい。生徒数の割に部活動の数が多く、部活動の精選に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ委員会での情報共有は大変重要であるため、些細と思われる事案でも会議で話題として組織的に経過観察ができる体制の構築を続けてほしい。 ・地域での活躍は目を見張るものがあった。すばらしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ対策について、日頃からの校内巡視により生徒観察を実施している。次年度はいじめ対策委員会を通して組織的に対応する。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・上位層の学力伸長にかかる取組、保護者に対する進路情報の提供、系統的進路活動の推進で自己評価が低くなっている。次年度以降、系統的な進路活動の推進のため、年次と進路指導部との連携がさらに重要となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な進路目標に応じたカリキュラムの設置や放課後講習の実施など、継続的な指導が必要かと思えます。三者面談等を通じ、生徒と保護者の進路目標を早期に把握し、その実現に向けた取り組みを明確化する進路指導が必要かと思えます。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・講習や週末課題の添削等により指導を継続していく。 ・報道への情報提供の他、ホームページや配信メールを活用して新鮮な情報の発信に努める。公式SNSの活用も検討する。 	
信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAだより、年次通信、HP、配信メール等を活用して発信を強化している。特に、報道に対して記事を送付するなど、攻めの姿勢で情報発信を行った。 ・授業公開週間や学習成果発表会では、「じもと学」に関わりの深い登別市や、地域の小学校・中学校からも来校頂いた。また、総合的な探究の時間の成果発表ではオンラインで登別市立緑陽中学校の生徒が見ることができるよう連携を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携は今後も継続し、登別市のモデル地区として、地域で子どもを育てる環境づくりを推進してほしい。青嶺高校からの生徒の活動等の発信があれば、魅力と感ずる地域住民や中学生が増えると考えている。 ・ホームページや新聞記事など積極的に学校の情報が地域に発信されていることは大変素晴らしいことだと思います。これからも積極的に情報発信に取り組んでほしいと思います。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との距離を近づけ、本校を知ってもらうとともに、「じもと学Ⅰ・Ⅱ」や「総合的な探究の時間」を通して地域とともに生徒を育てる学校づくりをすすめる。 	
公表方法	学校運営協議会委員への説明、学校ホームページへの掲載	

3 添付資料

- (1) 令和5年度 学校関係者評価
- (2) 令和5年度 自己評価書